



Photostud

THE HANSHIN JUVENILE FILLIES

第76回 農林水産省賞典 阪神ジュベナイルフィリーズ (GI)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 65,000,000円 26,000,000円 16,000,000円 9,800,000円 6,500,000円
付加賞 1,274,000円 364,000円 182,000円



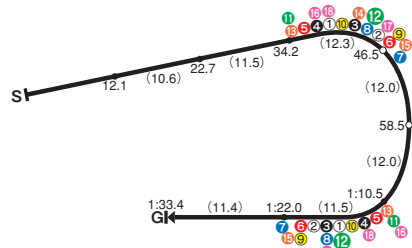
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、2歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2024.12.8 京都 曇・良 芝1600m (国際) (指定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑫	アルマヴェローチェ	牝2	55	岩田望来	1:33.4	7-9	34.3	484(±0)	10.5⑤	上村洋行(栗東)	113
2	①	ビップデ이지ー	牝2	55	幸 英明	1¼	12-9	34.4	436(-2)	18.3⑧	松下武士(栗東)	110
3	②	テリオスラ	牝2	55	M.デムロ	1¼	5-5	35.1	486(-10)	16.3⑦	田島俊明(美浦)	106
4	⑨	ショウナンザナドゥ	牝2	55	池添謙一	アタマ	3-3	35.2	438(±0)	4.5②	松下武士(栗東)	106
5	⑩	スリールミニョン	牝2	55	永島まなみ	1¼	14-16	34.6	434(+2)	170.6⑩	高橋康之(栗東)	103
6	③	コートアリシアン	牝2	55	戸崎圭太	アタマ	17-16	34.4	442(+8)	7.1③	伊藤大士(美浦)	103
7	⑩	ミントッビー	牝2	55	古川吉洋	½	12-13	34.9	442(+4)	269.4⑩	堀内岳志(美浦)	102
8	⑦	ミストレス	牝2	55	坂井瑠星	アタマ	1-1	35.8	492(-4)	11.9⑥	矢作芳人(栗東)	102
9	⑥	モズナナスター	牝2	55	田口貴太	½	3-3	35.7	448(±0)	133.8⑨	矢作芳人(栗東)	101
10	④	ジャルディニエ	牝2	55	北村友一	¾	14-13	34.9	450(-4)	54.7⑩	栗村 豊(栗東)	99
11	⑭	ランフォーヴァウ	牝2	55	松山弘平	アタマ	9-9	35.3	448(-2)	26.5⑩	福永祐一(栗東)	99
12	⑤	リリーフィールド	牝2	55	武 豊	アタマ	2-2	35.9	434(+6)	36.1⑩	小崎 憲(栗東)	99
13	⑦	メイドイレディ	牝2	55	L.デットーリ	1¼	5-6	35.9	456(-)	9.2④	J.リー(米国)	96
14	①	クリノメイ	牝2	55	荻野琢真	1¼	17-16	35.1	448(+4)	103.5⑩	須貝尚介(栗東)	94
15	⑤	ジュンエオス	牝2	55	藤岡佑介	¾	16-15	35.4	486(+8)	243.9⑩	武 英智(栗東)	93
16	①	ブラウラチエット	牝2	55	C.ルメール	½	11-12	35.9	428(-12)	3.4①	手塚貴久(美浦)	92
17	③	ダンツエラン	牝2	55	団野大成	2¼	9-6	36.4	482(-4)	22.2⑩	本田 優(栗東)	87
18	⑥	カワキタマナレア	牝2	55	鮫島克駿	3	7-6	37.1	430(+6)	27.8⑩	杉山佳明(栗東)	81

単勝①-⑫8,510円(31¼%) 複勝②360円(5¼%) ①500円(7¼%) ②600円(9¼%) 枠連①-⑥4,980円(19¼%)
馬連①-⑫8,510円(31¼%) ワイド①-⑫1,800円(21¼%) ②-⑫2,720円(35¼%) ①-③2,270円(43¼%)
馬単②-①18,180円(65¼%) 3連複①-②-③7,530円(128¼%) 3連単②-①-③227,500円(725¼%)
5重勝⑦⑧⑨⑩⑪⑫775,850円(595票) 対象競走：中京10R/京都10R/中山11R/中京11R/京都11R



通過タイム：600m 800m 1000m 上り：800m 600m
34.2 - 46.5 - 58.5 46.9 - 34.9

アラカルト

- ・岩田望来騎手は阪神ジュベナイルフィリーズ初勝利。JRA重賞は24年5勝目、通算12勝目
- ・上村洋行調教師は阪神ジュベナイルフィリーズ初勝利。JRA重賞は24年3勝目、通算6勝目
- ・ハービンジャー産駒はJRA重賞通算43勝目
- ・ミントッビーの松岡正海騎手は12月7日・中京第5競走での負傷のため古川吉洋騎手に変更
- ・クリノメイは柙内駐立不良[立上がる]。馬体検査。危険防止のため外枠から発走
- ・非常選馬 7頭(イリフィ、ウォーターガーベラ、サンナイアガラ、ティラトーレ、テレサ、ベルビースタローン、ラブアイミー)

アルマヴェローチェ *Arma Veloce*

牝 黒鹿毛 2022.2.15生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・大野照旺氏 栗東・上村洋行厩舎
馬名意味・武器(伊)・冠名

モーリストンベルCAN系 F4-m

ハービンジャーGB Harbinger 鹿毛 2006	Dansili 黒鹿毛 1996	Danehill Hasili
	Penang Pearl 鹿毛 1996	Bering Guapa
ラクアミ 栗毛 2012	ダイワメジャー 栗毛 2001	サンデーサイレンスUSA スカーレットブーケ
	レイズアンドコール 鹿毛 2001	サクラバクシンオー モーリストンベルCAN

5代までのインブリード：ノーザンテストCAN M4×M5
Northern Dancer S5×S5×M5×M5

INTERVIEW

佐藤信乃介 厩舎長(ノーザンファーム空港)

期待通りの成長を見せてくれました

イヤリングから来た頃から高い評価を受けていた馬です。騎乗した際にも背中の良い感じが感じられ、その期待通りの成長を見せてくれました。自分の印象だけでなく、陣営からも距離があった方がいいと言われていたように、折り合いの不安も感じられませんでした。札幌2歳Sを使ってからさらに状態が良くなったと聞いていましたが、あの末脚には驚かされました。

Y.Hamano



ハービンジャー産駒で母の父はダイワメジャー。ナミュールと同じ配合を持つ本馬は札幌・芝1800mの新馬戦を逃げ切り、差しに構えた札幌2歳Sでもハナ差の2着に食い下がった。3カ月の休養を挟んで臨んだこの日は、マイルの距離、京都コース、当日輸送も初めてと、数々のハードルと対峙したが、それらの課題をまとめてクリア。デビュー6年目の新鋭・岩田騎手に初G1制覇を贈り、新年の牝馬クラシック戦線をリードする存在に躍り出た。

父ハービンジャーGB

英9戦6勝(キングジョージVII世&クイーンエリザベスSG₁、ハードウィックSG₂、ゴードンSG₃、オーモンドSG₃)、11年から日本で供用
〔代表産駒〕**ノームコア**(香港CG₁、ヴィクトリアマイルG₁)、**ディアドラ**(秋華賞G₁、ナッソーS・英G₁)、**チェルヴィニア**(オックスG₁、秋華賞G₁)、**プラストワンピース**(有馬記念G₁)、**モズカッチャン**(エリザベス女王杯G₁)、**ベルシアンナイト**(マイルチャンピオンシップG₁)、**ナミュール**(マイルチャンピオンシップG₁)、**アルマヴェローチェ**(本馬)、**ニシノデイズ**(中山大障害J・G₁2回、東京スポーツ杯2歳SG₃、札幌2歳SG₃)、**ローシャムパーク**(オールカマーG₂、函館記念G₃、BCターフ・米G₁2着)、**ドレッドノートス**(京都大賞典G₃)、**ハービンマオ**(関東オックスJ₂II)、他に重賞勝ち馬多数

母ラクアミ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央24戦3勝(久多特別)

トーホウデュラン(19 牡父ドレフォンUSA)中央17戦1勝
シテ(20 牡父エビファネイア)中央6戦0勝、地方4戦0勝
カリシ(21 牝父モーリス)中央10戦2勝 ⑧

アルマヴェローチェ 本馬(22 牝父ハービンジャーGB)中央3戦2勝(阪神ジュベナイルフィリーズG₁、札幌2歳SG₃2着)獲得総賞金85,600,000円
ポンドマティーニ(23 牡父レイデオロ)
(24 流産)

祖母レイズアンドコール

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央5勝(さくらんぼ特別、邁進特別、アイビスサマーダッシュG₃3着)、23年用途変更

ラクアミ(12 前出)

モンドキャンノ(14 牡父キンシャサノキセキAUS)中央2勝(京王杯2歳SG₂、朝日杯フューチュリティSG₁2着、函館2歳SG₃2着)、種牡馬
カリボール(16 牡父ジャスタウェイ)中央5勝(福島テレビオープンOP、芦屋川S、清滝特別、あざさ賞、鞍馬S₃3着) ⑧

ラビカズマ(18 牡父キンシャサノキセキAUS)中央1勝 ⑧

ラリベラ(19 牝父ハーツクライ)中央1勝(スイートピーS・L3着) ⑧

曾祖母モーリストンベルCAN

北米5勝(ナタルマS・加L、ヒアカムズザブライドS・米L、トロピカルパークオックス・加L2着、サンクレメンテH・米L2着、マッチングH・加L2着、セニョリータBCS・米G₃3着、ハニムンH・米G₃3着)、95年輸入、06年死亡
レイズアンドコール(01 前出)

数々の課題をクリアして2歳女王の座へ

フリーダーズCジュベナイルフィリーズスターフ2着の米国馬メイデイレディが参戦し、国際的な彩りも加わった阪神ジュベナイルフィリーズは、波乱の決着となった。無傷の戴冠に挑んだアルテミスSの覇者フ라운ラチエツト、同3着のシヨウナンザナドウ、新潟2歳Sの2着馬コートアリシアンをはじめ、ひと桁の単勝オッズを記録した馬たちは揃って敗れ、感服候補と目されていた面々が1〜3着を独占。なかでも5番人気のアルマヴェローチェが鋭い決め手を冴え渡らせ、世代最初の頂点に君臨した。

先遣役を務めたのはアルテミスSで2着に逃げ粘ったミストレス。緩みの

ない流れでレースが進むなか、好位につけたシヨウナンザナドウ、メイデイレディに対し、アルマヴェローチェの岩田望来騎手は馬と呼吸を合わせながら中団に腰を落着ける。フ라운ラチエツトはその直後を追走。ダッシュがつかなかったコートアリシアンは後方2番手で末脚勝負に構えた。

傷みが目立つ内を嫌ったミストレスは馬場の真ん中に進路を取ってスパイト。その外からリリーフィードとシヨウナンザナドウ、インを突いたモズナナスターも襲い掛かり、直線半ばでは4、5頭が横に大きく広がって先頭を争う形勢に。しかし大外へ持ち出され、2戦2勝のビップデイズと併せ馬の形で伸びてきたアルマヴェローチェは一枚上の末脚を発揮。先に抜け出した先行勢を一気に呑み込むと、懸命に食い下がるビップデイズも突き放して鮮やかな強襲を決めた。